



JICAミャンマー 工学教育拡充プロジェクト

EEHE PHOTOLETTER



ヤンゴン工科大学での教員研修



電力学科教員による研究発表と意見交換



電子学科での模擬実験

EEHEプロジェクトの教員研修がヤンゴン工科大学（YTU）で5月15日からの1週間、国内支援大学（千葉、新潟、金沢、岡山、長崎、熊本）から派遣された17名の専門家によって、機械、電力、電子、情報、メカトロニクス学科で実施されました。この研修は、学部教育の実験実習の改善および6学年の準備と、教員の研究能力向上を目的で実施されました。具体的には、実験実習の手引書や学生レポート内容についての議論や模擬実験の実演、研究グループ活動や研究指導体制に対する議論が行われました。

次の教員研修は11月にマンダレー工科大学（MTU）で実施する予定です。

橋梁現地実験

6月19日から1週間、国内支援大学の京都大学教員（杉浦教授、金教授、鈴木助教）を中心としたグループによる橋梁の現地調査を行いました。マンダレーではMTU教員および学生とともにヤダナポン橋にて、走行車両による橋の振動、床梁の応答とボルト軸力に関する実験データ収集を行いました。またモーラマインではYTU教員と学生とともにチャウンソン橋およびモーラマイン工科大学にて、鋼材の腐食と塗膜の耐久性に関する実験データ収集を行いました。

同調査には、建設省の職員も参加し、大学と建設省との連携の強化も促進することができました。今後もYTU、MTUの教員が主体的に同様の実験ができるよう継続した指導助言を行う予定です。

ヤダナポン橋の
現場調査

水路設備

山上准教授

水理実験研修

6月15日、16日の両日、EEHEプロジェクト国内支援大学の京都大学から山上(サツ) 准教授がYTUを訪問し、土木工学科の教員や博士課程の学生を含めて研修を行いました。この研修は研究能力の向上を図る目的で、学生によるデータ解析を含む基礎水理実験、研究論文の書き方の講義、関連する学術論文のディスカッションが行われました。山上准教授は「YTUには現在無償資金協力で支援した水路設備があり、国際ジャーナル投稿に見合う実験結果が十分に得られます。この施設を利用した教員や学生の更なる実験と、オリジナリティのある研究や論文が今後出てくることを期待しています。」とコメントしています。



EEHE Project Office: Yangon Technological University, Insein Township, Yangon, Myanmar
Please contact EEHE Project office if you have any topic/info to share in this Photoletter.

